

仮名手本胸之鏡

207
465



国立国会図書館 仮名手本胸之鏡 : 3巻 207-465

ガラス使用

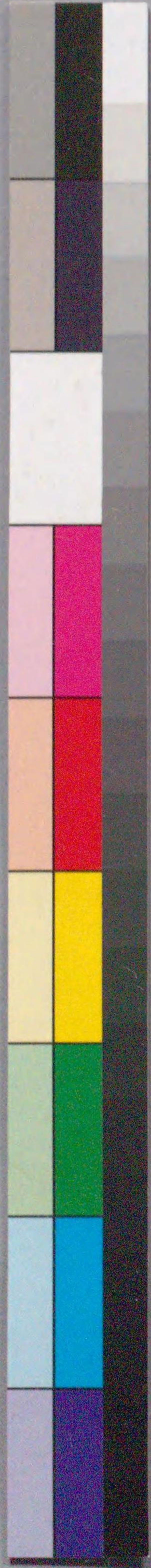


茶海
 本丸海標身合戦
 十一年
 唐紙合三冊

207
 465

寛政三年





国立国会図書館 仮名手本胸之鏡 : 3巻 207-465

ガラス使用

假名手本胸之鏡

あてわのきをうたは
らへせんとしやくと
しはしりのこまま
あはれんべあゆ
仁義立常のあ
ましむるめ
世古人の姓名と
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの
おろいあへの

雲一顧君子須
認印信為真

寔政壬午春初春





短氣の鏡
 人の心を映す
 鏡の如く
 人の心を映す
 鏡の如く

短氣の鏡



短氣の鏡
 人の心を映す
 鏡の如く
 人の心を映す
 鏡の如く

短氣の鏡
 人の心を映す
 鏡の如く
 人の心を映す
 鏡の如く





けんあがらのとまりて
 りんどうしきひんごあ
 がまことばらさふうつま
 きやうけんのごとく

破忍之鏡



人のらうちうまき
 二守りのかんあんの
 かんとせふれがけん
 につけてそのふん
 りひあわさふん
 のりてけんあんの
 まりけんあんの
 つげんあんの
 けんあんの
 けんあんの

けんあんの
 まれたれが
 いまてきと
 まりたるけん
 けんあんの

これいん
 こけん
 けんあんの

いん
 のりて
 けんあんの
 まりけん
 けんあんの





くらとまのひ
 いりてこゝろて
 大地とまのひ
 いんてまのひ
 鏡のごとく

大功之鏡

まつり
 こころ

けうとちと
 ちのへでんわ
 母とこころ
 れうこころ
 ねんたふん
 トラヤとまのひ
 まつりこころと

とうらんはんふろし
 きんたつとまのひ
 らんたつとまのひ
 ののへまのひ
 まつりこころと

つてまのひ
 千人のまのひ
 つてまのひ
 まつりこころと

ちのへでんわ
 母とこころ
 れうこころ
 ねんたふん
 トラヤとまのひ
 まつりこころと

ちのへでんわ
 母とこころ
 れうこころ
 ねんたふん
 トラヤとまのひ
 まつりこころと







此の如くは...
 此の如くは...
 此の如くは...

この如くは...
 ひのき...
 ひのき...
 ひのき...



不
 心
 鏡

女を夫が...
 女を夫が...
 女を夫が...



此の如くは...
 此の如くは...
 此の如くは...

この如くは...
 この如くは...
 この如くは...







以上十六面のかみ...
 さなれそんのかみやう...
 おきて...
 ちんのかみ...

男之鏡

...のて...
 ...のて...
 ...のて...

...のて...
 ...のて...



...のて...
 ...のて...
 ...のて...



207
465

大げららんとさけとさけと
 くらとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと
 あととあざしと大かたと
 さけとあざしと大かたと
 つらとあざしと大かたと
 らとあざしと大かたと
 らとあざしと大かたと
 らとあざしと大かたと
 らとあざしと大かたと

四五團魚

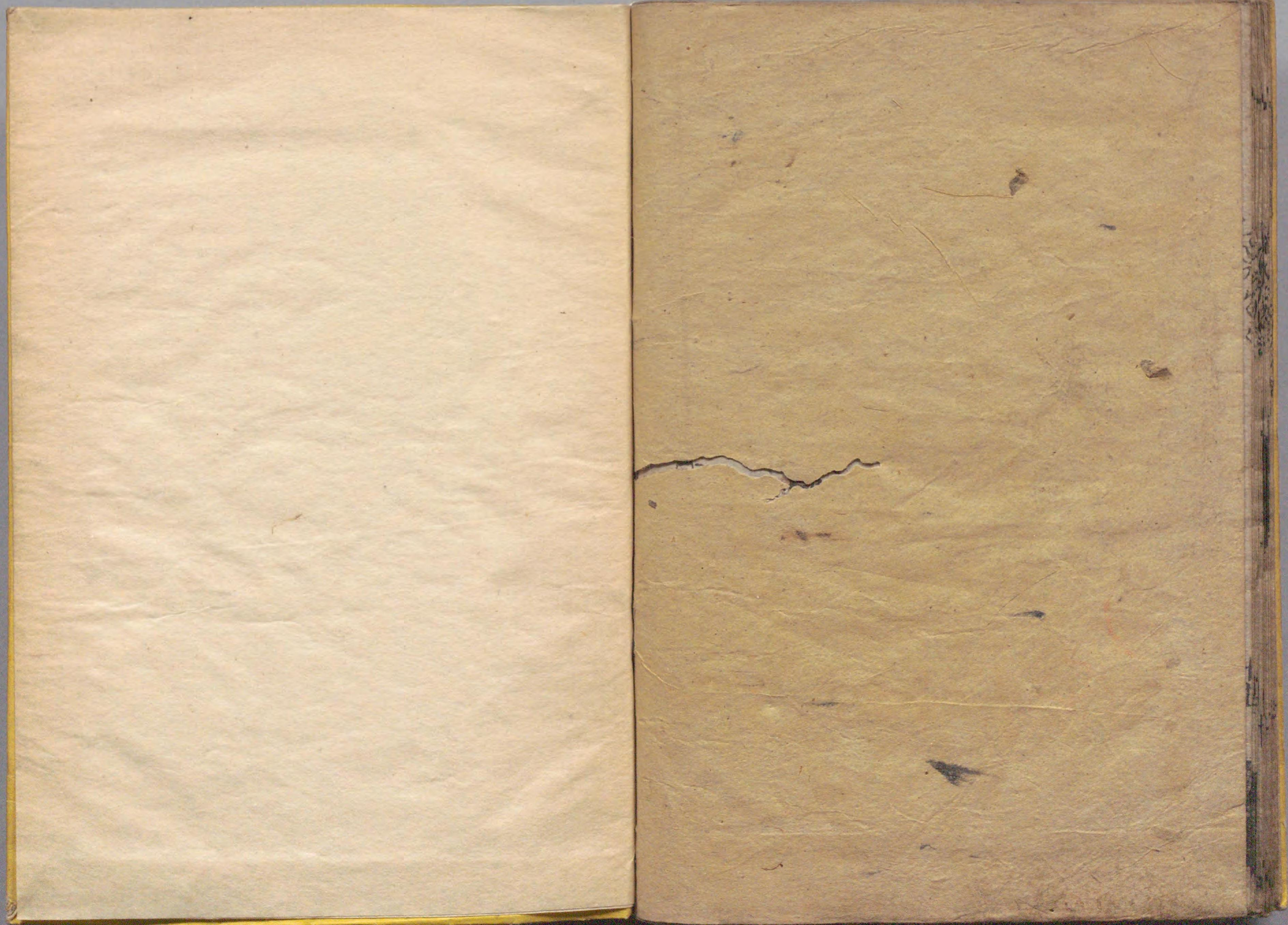
京傳作

○山東京傳作せ
 忠臣本傳傳と中土さるの
 かりらたあざしと大かたと
 ちまはこれらと大かたと
 とさけとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと

○京傳作せとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと

千秋萬歳
 あざしと大かたと
 くらとあざしと大かたと



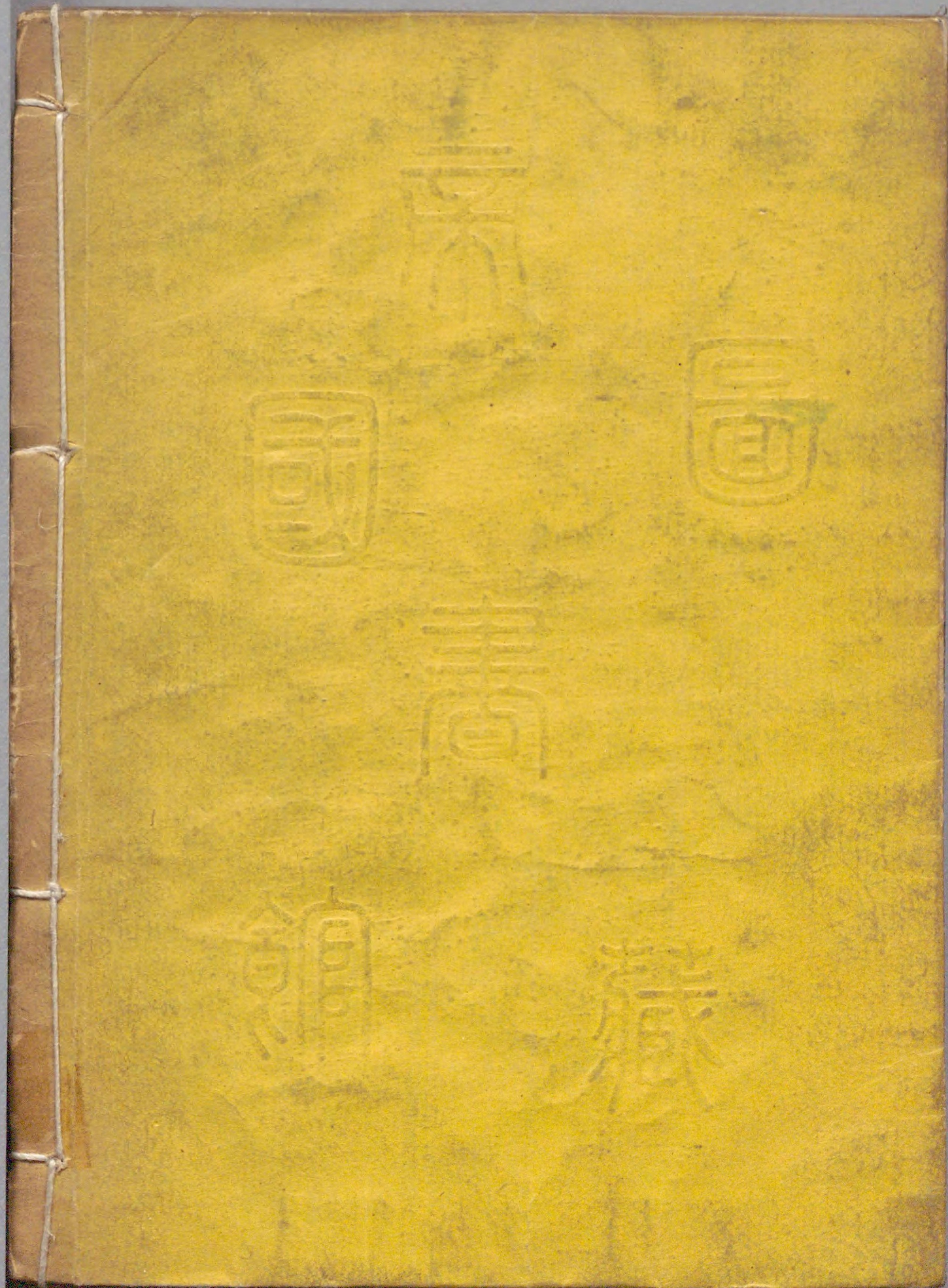


国立国会図書館 仮名手本胸之鏡：3巻 207-465

ガラス使用



国立国会図書館 仮名手本胸之鏡：3巻 207-465



ガラス使用

